

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	たなごころ金山LAB
住所	名古屋市熱田区新尾頭1-6-13 第19金山フクマルビル2階
電話番号	052-228-4860

事業所番号	2316200738
管理者名	浅井 秀紀
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		30 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		-10 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満	○	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計(注1)		6 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計(注2)		5 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	20点 10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	70 点 / 200点
----	----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）



(Ⅰ) 労働時間					
前年度（ 6年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,364	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,339	人
			利用者の1日の平均労働時間数	3.77	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 4月～ 3月）					
前々々年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	0	円	利用者に支払った賞金総額	0	円
			収支	0	円
前々年度（ 4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	1,612,830	円	利用者に支払った賞金総額	6,529,133	円
			収支	▲ 4,916,303	円
前年度（ 5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	2,376,840	円	利用者に支払った賞金総額	15,772,572	円
			収支	▲ 13,395,732	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
<input checked="" type="checkbox"/> ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者を職員として登用する制度を定めている		<input type="checkbox"/> ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
<input type="checkbox"/> ④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
<input type="checkbox"/> ⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
<input checked="" type="checkbox"/> ①研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ※研修名 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座 研修講師 ハローワーク名古屋東 小鹿氏 安藤氏 実施日・受講者数 6月 19日 6人		<input checked="" type="checkbox"/> ②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ※研修、学会等名 事例共有研修会 実施日 5月 11日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ		<input checked="" type="checkbox"/> ③先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 就労継続支援A型事業所たなごころ 実施日/参加者数 3月 11日 1人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
<input checked="" type="checkbox"/> ④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名 フラワーメイド好生館プロジェクト 主催者名 東邦フラワー株式会社 日時 3月 13日 内容 サポーター企業同士のマッチング		<input type="checkbox"/> ⑤職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ⑥当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 2年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 6名 うち昇給・昇格を行った者 1名 当該人事評価制度の周知方法 書面にて		<input type="checkbox"/> ⑥ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ⑦当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
<input type="checkbox"/> ⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		<input type="checkbox"/> ⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ※受理日 2024年 1月 9日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	たなごころ金山LAB	事業所番号	2311100776
住 所	名古屋市熱田区新尾頭1-6-13	管理者名	浅井 秀紀
電話番号	052-228-4860	対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>愛知県名古屋市中区金山1丁目7-10 金山名藤ビル 5F 令和5年12月5日～ スキャン作業</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>他者との協力による業務の遂行。 一般就労を視野に入れ、環境の変化への適応力を付ける。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>静かな環境で、集中して取り組めた。 先方担当者とのコミュニケーションも、円滑になってきた。 環境の変化に対する適応力も、強くなってきた様に見受けられる。 また、改めて自身の障害に向き合う機会にもなったようである。 障害への理解が深まり、より良い対処法を得る、きっかけになればと思う。</p>	


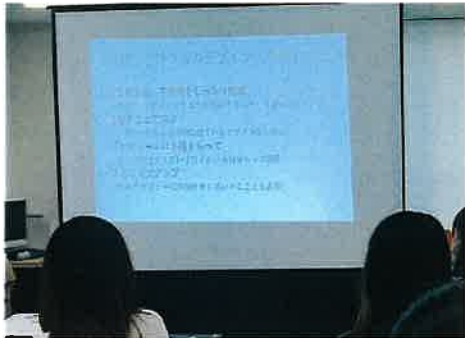
## 連携先の企業等の意見または評価

<p>双方で、コミュニケーションを取りながら行っている。 連携を取りながら、作業内容の改善が実現出来ている。 「こうしたら効率が良いのでは?」といった作業方法の提案も、利用者さん自身で主体的に行えている。 一口にスキャン作業と言っても、案件毎でルールや進め方が異なるので、意見交換の強化を図っていく事が必要と思われる。</p>			
連携先企業名	株式会社ビジョンクリエイツ	担当者名	世良田

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	たなごころ金山LAB	事業所番号	2311100776
住 所	名古屋市熱田区新尾頭1-6-13	管理者名	浅井 秀紀
電話番号	052-228-4860	対象年度	令和5年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>テーマ/デザイン講座</p> <p>活動場所/たなごころ金山LAB</p> <p>実施日程/15:00~16:00</p> <p>参加人数/11名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>デザイナー・ディレクターとして、何が必要か、また、それぞれの役割と仕事の進め方の違いを学ぶ。アートとデザインの違いを明確にする。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>顧客の意向を形にする事が仕事であり、自身の作品作りではない事 理解が進んだと思われる。質疑応答では良いデザインの模倣の可否や、それによる著作権侵害の懸念といった意見も出た。</p>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>この講座を通じて、顧客の意向に沿った広告物の作成について、何が必要かの理解が進んだように見受けられる。実際の作成にあたって、積極的に良いデザインを参考にしようという意識が高まった。</p> <p>また、良いものを参考にすることが、自身のデザインの引き出しを増やすという発想にも繋がり、利用者一人一人が意識を持ってデザインへ取り組む姿勢が、見られるようになった。</p>	
連携先企業（担当者）	世良田

## 利用者からの意見・評価

<p>利用者A: 広告は、デザイナー一人の手で作られるものではない。という事が理解できた。</p> <p>利用者B: デザインを真似るのは、良くないと考えていたが、そうではない事が分かった。</p> <p>利用者C: 広告がどのような流れで出来ていくのかが、理解できた。</p> <p>利用者D: デザインの引き出しを増やす事が、スキルアップに繋がると思った。</p>
--